

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【公表番号】特表2019-511865(P2019-511865A)

【公表日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-016

【出願番号】特願2018-546866(P2018-546866)

【国際特許分類】

H 04 N 19/91 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/91

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月6日(2020.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のビデオサンプルを有するビデオ情報をコード化するための装置であって、

複数のグループに配列される複数のビデオサンプルを記憶するように構成されたメモリと、各ビデオサンプルは、ビットサイズBを有し、前記複数のグループのそれぞれのグループは、グループサイズKを有する、

ハードウェアプロセッサと、前記ハードウェアプロセッサは、可変長コード化(VLC)スキームを使用して、それぞれのベクトルベースコードを形成するために前記複数のグループの各グループ中の前記複数の前記ビデオサンプルのそれぞれの長さKのサンプルベクトルをコード化するように構成され、前記それぞれのベクトルベースコードは、少なくとも、前記ビットサイズBまたは前記グループサイズKのうちの少なくとも1つに対応するルックアップテーブルの複数のタイプの中からルックアップテーブルのタイプを識別する第1の部分と、前記それぞれのグループ中の前記複数のビデオサンプルを表す第2の部分とを備える、

前記ハードウェアプロセッサは、前記複数のグループの最初のいくつかのグループ中に符号絶対値表現において前記複数のビデオサンプルをコード化するようにさらに構成され、

前記ハードウェアプロセッサは、前記複数のグループの最後のグループ中に2の補数表現において前記複数のビデオサンプルをコード化するようにさらに構成され、

前記ハードウェアプロセッサは、前記それぞれのベクトルベースコードを出力するようにさらに構成され、

前記それぞれのベクトルベースコードを形成するために前記それぞれの長さKのサンプルベクトルをコード化するため、前記ハードウェアプロセッサは、

前記それぞれの長さKのサンプルベクトルをインデックス値に変換することと、

前記インデックス値を前記タイプのルックアップテーブルを使用してコード番号にマッピングすることと、

前記タイプのルックアップテーブルを示すように前記それぞれのベクトルベースコードの前記第1の部分をコード化することと、

前記それぞれのベクトルベースコードの前記第2の部分を形成するために前記コード番号をコード化することと、

を行うように構成される、  
を備える装置。

【請求項 2】

前記ハードウェアプロセッサは、  
可変長コード化（VLC）スキームを使用して、それぞれのコード番号を形成するために前記それぞれのベクトルベースコードを復号すること、  
前記それぞれのベクトルベースコードの前記第1の部分によって識別される前記それぞれのタイプのルックアップテーブルを使用して、前記それぞれのコード番号をそれぞれのインデックス値にマッピングすること、  
前記それぞれのインデックス値を前記それぞれのグループの前記複数のビデオサンプルに変換することと  
を行うようにさらに構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項 3】

前記ハードウェアプロセッサは、前記ビットサイズBが閾値より小さいとき、前記それぞれのベクトルベースコードを供給するように構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項 4】

前記タイプのルックアップテーブルは、可能なKサイズのグループのセットのうちの前記それぞれのグループの生起確率に少なくとも部分的に基づく、請求項1に記載の装置。

【請求項 5】

複数のビデオサンプルを有するビデオ情報をコード化するための方法であって、  
複数のグループに配列される複数のビデオサンプルを記憶することと、各ビデオサンプルは、ビットサイズBを有し、前記複数のグループのそれぞれのグループは、グループサイズKを有する、

可変長コード化（VLC）スキームを使用して、それぞれのベクトルベースコードを形成するために前記複数のグループの各グループ中の前記複数の前記ビデオサンプルのそれぞれの長さKのサンプルベクトルをコード化することと、前記それぞれのベクトルベースコードは、少なくとも、前記ビットサイズBまたは前記グループサイズKのうちの少なくとも1つに対応するルックアップテーブルの複数のタイプの中からルックアップテーブルのタイプを識別する第1の部分と、前記それぞれのグループ中の前記複数のビデオサンプルを表す第2の部分とを備える、

ここにおいて、前記コード化することは、

前記複数のグループの最初のいくつかのグループ中に符号絶対値表現において前記複数のビデオサンプルをコード化することと、

前記複数のグループの最後のグループ中に2の補数表現において前記複数のビデオサンプルをコード化することと、を含み、

ここにおいて、前記それぞれのベクトルベースコードを形成するために前記それぞれの長さKのサンプルベクトルをコード化することは、

前記それぞれの長さKのサンプルベクトルをインデックス値に変換することと、

前記インデックス値を前記タイプのルックアップテーブルを使用してコード番号にマッピングすることと、

前記タイプのルックアップテーブルを示すように前記それぞれのベクトルベースコードの前記第1の部分をコード化することと、

前記それぞれのベクトルベースコードの前記第2の部分を形成するために前記コード番号をコード化することと、を備える、

を備える方法。

【請求項 6】

可変長コード化（VLC）スキームを使用して、それぞれのコード番号を形成するために前記それぞれのベクトルベースコードを復号すること、

前記それぞれのベクトルベースコードの前記第1の部分によって識別される前記それぞれのタイプのルックアップテーブルを使用して、前記それぞれのコード番号をそれぞれの

インデックス値にマッピングすることと、

前記それぞれのインデックス値を前記それぞれのグループの前記複数のビデオサンプルに変換することと

をさらに備える、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記ビットサイズ B が閾値より小さいとき、前記それぞれのベクトルベースコードを供給することをさらに備える、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記タイプのルックアップテーブルは、可能な K サイズのグループのセットのうちの前記それぞれのグループの生起確率に少なくとも部分的に基づく、請求項 5 に記載の方法。